

国際交流員オギー通信

Сайн байна уу
サインバイノー!

(モンゴル語で「こんにちは」)

9月1日は入学式

モンゴルの新学期は9月1日から始まります。この日の朝に、全国各学校前の広場で教師や保護者、生徒たちが集まり、入学式のイベントを楽しみます。

まず、校長先生の挨拶、成績優秀な高校生の挨拶、新入生代表者の挨拶、そして在校生によるコンサートという流れで進みます。コンサートでは歌やダンス、詩などの演技があります。そしてイベントの最後に、「初ベル」という行事を行います。ピカピカ1年生の男女1人ずつがペアになり、大きなベルを持って、走りながら鳴らします。その後、生徒たちは各クラスに別れて、教室へ移り、大統領の生中継の授業を受けます。また、入学式の時に1年生は担任教師に「よろしくお祈いします」という意味で花束を渡しています。

モンゴルの義務教育期間は中学卒業までの9年間であり、授業料は私立学校を除いて高校卒業まで全額国家が負担します。学校は「一貫校」です。つまり、日本でいう小学1年生から高校3年生までがずっと同じ建物で勉強し、学年は1年生から12年生まであります。(小学校1～5年生、中学校6～9年生、高校10～12年生)

そのため、生徒が多くて教室を効率良く使うため、「中高生は午前中・小学生は午後」に分けて勉強します。



▲初ベルの様子

授業科目はモンゴル語、算数、体育、社会科、音楽、図画、労働、外国語、歴史、自然、数学、文学、地理、物理、化学、法学など日本と大体同じです。

ちなみに、私が子どもの時は、小学校入学年齢は8歳、4・3・3制で10年間教育を受けていました。しかし、国際基準に合わせるため、2008年から5・4・3制に移行しました。

そのために、私が子どもの時は、小学校入学年齢は8歳、4・3・3制で10年間教育を受けていました。しかし、国際基準に合わせるため、2008年から5・4・3制に移行しました。



◀コンサートの様子

今月のモンゴル語

амттай (アムタイ) : 美味しい

амттай байлаа (アムタイ バイラー) : 美味しかった

▶国際交流員のオギー



特産品相互取扱協定 自治体紹介⑨
～岐阜県美濃加茂市～

本市と特産品協定を締結している岐阜県美濃加茂市について紹介します。 問合先 農林水産課

- 面積 : 74.81㎢
- 人口 : 56,466人・21,929世帯 (平成29年6月1日現在)
- 市の花 : あじさい ●市の木 : むく

美濃加茂市は、昭和29年4月に加茂郡太田町、古井町、山之上村、蜂屋村、加茂野村、伊深村、下米田村および三和村大字廿屋、川浦ならびに和知村大字牧野の8町村1区域が大同団結し、市制を施行しました。

美濃加茂市は、岐阜県の中南部に位置し、木曾川と飛騨川の合流点にあり、中山道六十九次の51番目の宿場町として有名な太田宿として栄えたまちです。現在も交通の要衝として近隣市町村の商業の中心ともなり、数多くの工業団地等が整備されています。

特産品の「堂上蜂屋柿」は千年以上の歴史を持ち、朝廷や幕府にも献上されたという干柿で、その伝統と技術を継承し、全国でも有数の地域ブランドとして評価を得ています。

美濃加茂市は、すべての人がいきいきと輝き、すべての人が共に成長する魅力いっぱいの「まあるいまちみのかも」を目指し、まちづくりを進めています。



◀昨年10月31日、泉佐野市役所において藤井浩人美濃加茂市長(右)と特産品相互取扱協定を締結

美濃加茂市の特産品

